

2026年3月17日

中央支部現地研修会（ウトロ平和祈念館）開催ご報告

中央区支部長 池住克治

【開催概要】

- 開催日時 2026年3月16日（月）14時～16時15分
- 場所 ウトロ平和祈念館
京都市宇治市伊勢田町ウトロ 51-43
- 参加者 22名
- 活動内容 館内にて講和拝聴（金秀煥 副館長ご説明）
施設内見学（金秀煥 副館長ご説明）
屋上及び施設屋外にてご説明拝聴（アベ事務局長）

【開催所感】

- ・中央区支部独自活動として現地研修会を開催。今回は京都府での開催となったが22名のご参加をいただいた。
- ・まず講和にてウトロ平和祈念館は民設民営の施設で2022年4月30日に開館されたこと、開館以来、約38,000人のご来館あり海外からの来館も多く、また地元学校との連携などにより地元学習の一環としての活動もあるとのことや当地区は元京都飛行場であり、一部に朝鮮人飯場が設置されていたこと、その跡地にウトロ平和祈念館が開館された経緯などの説明があった。
金秀煥副館長からの「差別されてかわいそうではなく、人間があきらめずに生きてきたこと。周囲の支援を受けながら困難を乗り越えてきたこと。その歴史を伝えたい」とのお言葉が特に印象的であった。
- ・また、2021年8月30日のウトロ地区で放火事件が発生。放火した青年は在日韓国・朝鮮人との接点はなかったがネット情報などの影響を受けて在日韓国・朝鮮人は優遇されている。「ウトロ平和祈念館」の建設を阻止したいと考え放火に至ったなどの説明があった。
- ・2階の展示室ではウトロの形成過程や戦後の生活、立ち退き裁判などウトロを守る闘いなど、現在に至るまでの歴史をパネルや実物とともに紹介されていた。
- ・屋上からは元京都飛行場の場所や住民らに移り住んでいる公的住宅1期棟（40世帯）や2期棟（12世帯）の説明を受けた。最後に屋外にて移設された飯場施設を見学した。
- ・ウトロ地区の歴史を学びながら、当事者の思いや周囲の支援など多くのお話を伺えた貴重な体験であった。

以上

<ご参考（研修会状況撮影）>

